

# 令和元年度学校関係者評価

富士メカニック専門学校 自動車整備科

令和元年度学校関係者評価委員

## ■保護者

森田洋子

第17期生森田雄一郎保護者

## ■企業関係者

立沢祐一郎

トヨタカローラ静岡(株)総務課採用担当

## ■業界団体関係者

杉山淳一

静岡県自動車整備振興会東部支所長

## 1. 教育理念・目標

### 【自己評価結果】

		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	B
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	B
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A

### 【現状の問題点】

現状の評価で大きな問題点は無い。

### 【改善のための方策】

### 【関係者評価】

## 2. 学校運営

### 【自己評価結果】

		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	B
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	B
13	BSCは適切に活用されているか。	B

<b>【現状の問題点】</b>
12番の教育に付いては、特定整備の法改正なども控えており早期に教員教育が必要。 13番のBSCに付いては評価方法が変わり、振り返る機会の減少と個人意識も下がった。
特定整備に付いては、自動車整備振興会の実施する講習会へ全教員が参加する。 BSCに付いては定量的な評価の他にも評価方法を今後考えていく必要がある。又、目標そのものも時間の経過とともに見える目標設定も必要になる。
<b>【関係者評価】</b>
自動車整備振興会としては、現在特定整備講習会に関する準備を行ってはいるものの、県内8000人の対象者を行うには、新型コロナウイルス感染の心配もあり、来年までに開催を目標に準備を行っている。

<b>3. 教育活動</b>		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
13	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
14	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
15	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
16	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
17	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
18	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
19	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	B
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	B
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
<b>【現状の問題点】</b>		
20番23番に付いては次年度体制の決定と発表が遅いために起こっている。		
<b>【改善のための方策】</b>		
十分な時間を使い次年度の計画を立てるために、今年度より次年度の計画と各教員配置は、12月の学生冬休みと同時に行う。		
<b>【関係者評価】</b>		
車の進化が早すぎて、教材等も追いついて行かない。各職員のスキルに任せている事もあるが、教えたことと教えなければならぬことのギャップもあると思う。教科書と実習車両の関係が揃えきれず大変だと思う。		

<b>4. 学修成果</b>		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
25	就職率の向上が図られているか	A
26	退学率の低減が図られているか	A
<b>【現状の問題点】</b>		
就職率退学率とも年度目標をクリアしており問題は無い。		

<b>【改善のための方策】</b>		
<b>【関係者評価】</b>		
5. 学生生活支援		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
27	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	B
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
<b>【現状の問題点】</b>		
27番の学生相談に付いては、学生アンケートの悩みや相談に付いての評価と同等である為、近日中に対応しなければならない。		
<b>【改善のための方策】</b>		
学生アンケート結果同様にPC版LINEを活用し、気軽に相談できる体制に6月末までに整える。		
<b>【関係者評価】</b>		
委員よりコメント無し。		

6. 教育環境		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
32	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	C
<b>【現状の問題点】</b>		
コモンディーゼル教材が不足している為、班編成が人数が増えてしまう。ハイブリッド車等は増えたものの専用工具が車両数に不足している。		
<b>【改善のための方策】</b>		
今後も引き続き教材車両を探し追加していく。又、専用工具に於いても次年度予算取りを行い実習車両数に応じた専用工具数にしていく。		
<b>【関係者評価】</b>		
職員の教育に付いては、自動車整備振興会としてもテーマを決めていただければ、協力をします。		

7. 学生の受け入れ募集		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
33	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	B
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A

35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
<b>【現状の問題点】</b>		
現状で大きな問題点は無い。		
<b>【改善のための方策】</b>		
<b>【関係者評価】</b>		
8. 財務		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
37	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	C
38	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	B
<b>【現状の問題点】</b>		
留学生の受験者は多いものの、辞退者も出る為、入学者の確実な数字が読めない。予算計画は全職員に伝わっていない為、その執行状況が全員には把握できていない。		
<b>【改善のための方策】</b>		
留学生に付いても指定校推薦制度を行い早期に確実な入学者数と成るようにしていく。各項目別の具体的な予算に付いては、全職員に閲覧可能な体制を取って行く。		
<b>【関係者評価】</b>		
委員よりコメント無し。		

9. 法令等の遵守		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
39	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	B
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
<b>【現状の問題点】</b>		
節約の為、保管しない物は裏紙の使用をしているが、時折個人名の入った物も混ざっており、完全な個人情報の保護に成っていないことが有る。		
<b>【改善のための方策】</b>		
裏紙置き場に、裏紙としての禁止要項を掲示し、うっかりミスを防ぐ。又、現状使用しているシュレッダーの能力が著しく低い為、現状より能力の高い物を1台増設し、タイムリーな処理ができるようにする。		
<b>【関係者評価】</b>		
委員よりコメント無し。		